

第2回山梨県教員育成協議会

資料2

- ◇ やまなし教育みらいフォーラム
「山梨県で学校の先生になろう」について
- ◇ 育成指標活用ガイドの素案について

○「山梨県で『学校の先生』になろう！」フォーラムについて

【実施要項】案

- (1)目的 山梨県で教員として働く魅力とやりがいについて、大学生・高校生に対してメッセージを送り、教職に関する理解を深めると共に県内教育事情を共有することで、山梨県で教職を目指す人材を増やす。
- (2)日時 令和5年12月17日(日) 14:00～16:30
- (3)会場 山梨県総合教育センター 大研修室
WEB 会議システム「ZOOM」によりオンライン配信
- (4)対象 大学生、大学院生、高校生
- (5)定員 山梨県総合教育センター オンライン参加 250名
- (6)申込期間 令和5年11月1日(水)～令和5年11月30日(木)
- (7)申込方法 募集ポスター及びセンターホームページ上に参加申込方法を「QRコード」で案内。
詳細を各自がダウンロードし、Microsoft Forms で申し込む。
- (8)内容 (進行流れ)

◆受付 オンライン入室 13:00～13:55 (55分間)

◆開会行事 14:00～14:15 (15分間)

開会のことば

教育委員会あいさつ

教育監 ○○ ○○ 氏

教職を目指す皆さんへメッセージ

参事 手島 俊樹 氏

諸連絡

◆フォーラム

《 1部 》 14:20～15:20 (60分間)

パネルディスカッション「山梨で学校の先生をする『魅力』について」

司会進行 センター指導主事

パネリスト	小学校教諭	先生	(○○立○○小学校)
	中学校教諭	先生	(○○立○○中学校)
	高等学校教諭	先生	(県立○○高等学校)
	特別支援学校教諭	先生	(県立○○支援学校)
	養護教諭	先生	(○○立○○○学校)
	栄養教諭	先生	(○○立○○○学校)

質疑応答

～休憩～ 5分間

《 2部 》 15:25～15:40 (15分間)

セミナー「山梨県独自の先生方を支えている取り組みについて」

・25人学級	○○○○	○○ ○○ 氏
・部活動の地域移行等	○○○○	○○ ○○ 氏

～休憩～ 10分間

《 3部 》 15:50～16:25 (35分間)

ブレイクアウトルームでのグループ討議

A: 高校1・2年生 「 」

B: 高校3年生 「 」

C: 大学1・2年生 「 」

D: 大学3・4年生 「 」

◆諸連絡 16:25～16:30 (5分間)

育成指標活用ガイド作成の方向性について—(案)—

(1) 育成指標について一層の理解を深めるために

- ・改定のポイントに関わる語句や文章記述について、その意味や解釈などの詳細について解説する。

(2) 育成指標を研修と結びつけていくために

- ・育成指標と総合教育センターの研修計画や講座内容とのつながりが分かるように、URLやQRコード等により検索・確認ができるようにする。

(3) 育成指標の具体的な活用場面・方法を周知するために

- ・人事評価制度とかかわって、自己観察書において、自己目標を設定し、その達成に向けた具体的な取組や研修内容を明記する際に参考となるように活用方法を明記する。
- ・夏休みの総合教育センター研修の受講申し込みの際に参考になることを明記する。
- ・同様に、1年間の取組状況や自己評価を記入する際に参考になることを明記する。

(4) 研修履歴の活用及び研修主事の導入について理解を深めるために

- ・研修履歴をもとにした管理職による奨励の際に参考とするように総合教育センターの研修履歴システムとの関係について明記する。
- ・高等学校に置かれた研修主事の具体的な役割について記述する。

※ 以上の内容について、次の「デジタル画面タイプ」をベースに検討していきたいと考えているが、他にも「リーフレットタイプ」や「冊子タイプ」も考えられる。

○デジタルタイプ ⇒ アクセスが容易で、他のデータと関連付けるなど汎用性が高い。

○リーフレットタイプ ⇒ 育成指標の入り口として手軽に活用することができる。

○冊子タイプ ⇒ 学習指導要領の解説のように、より詳しい説明を整理して掲載できる。